



報道関係者 各位

令和3年9月24日午後2時00分発表
問合わせ先

水島海上保安部 086 - 444 - 2967

航行安全課長 安原 幹晴

玉野海上保安部 0863 - 32 - 3589

交通課長 新家 康弘

令和3年夏 岡山県海域の船舶海難及び人身海難の発生状況について

令和3年7月1日 ~ 8月31日

船舶海難12隻（昨年同時期15隻）

- 船種別では、プレジャーボート6隻、漁船2隻、貨物船3隻、遊漁船1隻
- 海難種類別では、船舶同士の衝突3件6隻、物件への単独衝突2隻、乗揚1隻、船体の不具合等による運航不能3隻

人身海難15人（昨年同時期12人）

- マリンレジャー以外の事故が9人
- マリンレジャーによる事故が6人

注意1: 数字は、水島・玉野海上保安部管内の集計であり、岡山県の行政海域とは一部異なります。

注意2: 発生数は速報値であり、事故調査結果等により増減する場合があります。

1 主な船舶海難の状況

- プレジャーボート等小型船の事故
 - 水上オートバイ同士の衝突（2件4隻）
 - 航路標識(灯浮標)への衝突
 - 船外機の不具合による航行不能
- 貨物船の事故
 - 漁船との衝突
 - 舵故障による運航不能

2 主な人身海難の状況

- マリンレジャー中の事故
 - SUPからの海中転落による漂流
 - 浮き具に乗って遊んでいた遊泳者が風潮流の影響を受け、沖に流されて戻れなくなったもの
 - 釣り中に岸壁から海中転落
- マリンレジャー以外の事故
 - 岸壁に着岸中の貨物船船内において病気を発症
 - 遊漁船に乗船し漁場を移動中、他船の航走波による船体動揺により転倒し負傷

○主な船舶海難事例

船種(全長)	海難種類 (海難原因) 発生日時場所	船舶海難の概要
漁船(11.82m)	単独衝突(見張り不十分) 令和3年7月17日 午前9時頃 備前市日生町頭島北西	事故船舶(2名乗組み)は、大多府島周辺海域での底引き網漁を終え、日生港に帰港中、乗組員2名が船尾で魚の選別作業に没頭し、航行中の見張りを怠っていたことから航路標識「片上港第一号灯浮標」に衝突したものである。漁船の乗組員2名に怪我等なし。
遊漁船(11.18m)	乗揚げ(水路調査不十分) 令和3年7月18日 午前11時25分頃 香川県坂出市櫃石島東	事故船舶は、遊漁のため、乗員4名(船長他スタッフ3名)、乗客9名(大人6名、子供3名)計13名が乗船し多度津港を出港した。 遊漁を行った後、下津井沖から多度津向け帰港していたところ、暗岩に乗り上げたものである。

○主な人身海難事例

発生日時場所	概要
令和3年7月24日 午後0時頃 玉野市渋川海水浴場	事故者2名(共に15歳、男性)は不開設の渋川海水浴場の東側においてフラミンゴ型の浮き具に乗って遊泳していたところ、風潮流の影響を受け、沖に流されて戻れなくなり、付近にいた水上バイクに救助されたものである。事故者2名に怪我等なし。
令和3年8月5日 午前8時40分頃 岡山港高島地区	事故者は岡山港高島地区の公共岸壁において釣りをしていたものであるが、釣りを止め帰ろうと立ち上がったところ、その場でふらつきバランスを崩して海中転落し、近くにいた釣り人が投げ入れたロープ等に掛まり、岸壁に設置してある梯子まで泳ぎ、自力で岸壁上に這い上がったものである。事故者に怪我等なし。
令和3年8月30日 午前11時頃 高室海岸沖合海域	事故者(45歳・男性)は、SUPに乗り魚釣りをしていたところ、波による動揺で海中転落し漂流していたが、付近航行中のタンカー「第十八日の出丸」が事故者を発見し、船内に引き上げ救助されたものである。